

# 環 境 係

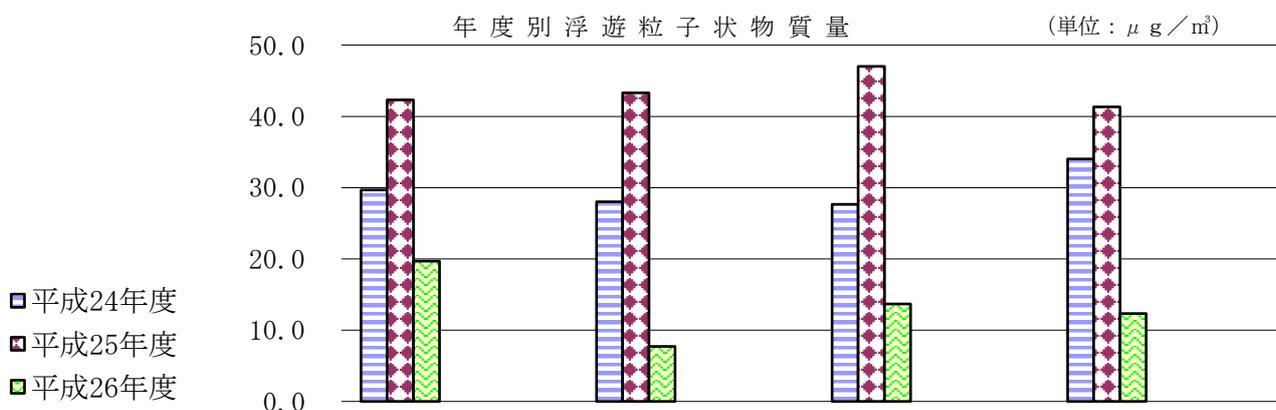
## 1 大気汚染調査

(1) 浮遊粒子状物質質量及び浮遊粒子状物質中に含まれる重金属量

調査期間：平成27年2月17日から同月19日まで

調査地点：市内4箇所

### ア 浮遊粒子状物質質量



区分	市役所	武蔵野台児童館	市民会館	第二小学校
平成24年度	29.7	28.0	27.7	34.0
平成25年度	42.3	43.3	47.0	41.3
平成26年度	19.7	7.7	13.7	12.3

### イ 浮遊粒子状物質中に含まれる重金属

調査地点・年度 調査項目	市役所		武蔵野台児童館		市民会館		第二小学校	
	平成26年度	前年度	平成26年度	前年度	平成26年度	前年度	平成26年度	前年度
鉛	0.005	0.008	0.004	0.008	0.005	0.009	0.004	0.009
マンガン	0.012	0.021	0.013	0.023	0.013	0.023	0.013	0.022
バナジウム	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	0.002
全クロム	0.002	0.003	0.002	0.003	0.002	0.005	0.002	0.003

※ 数値は、1日平均の3日間平均の量である。

※ 単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$  ( $\mu\text{g}$  (マイクログラム) は100万分の1g)

### ウ 微小粒子状物質 (PM2.5)

調査期間：平成27年2月17日から同月19日まで

区分	商工会館	環境基準
平成26年度	11.1	1年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

※ 数値は、1日平均の3日間平均の量である。

※ 単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$  ( $\mu\text{g}$  (マイクログラム) は100万分の1g)

(2) 燃料に含まれるイオウ分

調査日：平成27年3月6日

調査事業所数：3事業所（燃料使用量3000ℓ/日以上）

事業所	燃料の種類(重油)	1日の最大使用量(ℓ/日)	イオウ含有量(Wt%)		基準値(W t %)
			平成26年度	前年度	
A	特A	1,000	0.07	0.07	0.8
B	〃	—			
C	A	—			
D	〃	—			
E	〃	—			
F	〃	—			
G	〃	800	0.08	0.07	
H	特A	1,200	0.04	0.06	
I	A	—			
J	〃	—			
K	〃	—			

※ W t % : 質量パーセント、検出下限値0.05

※ 重油施設の廃止等に伴い、3事業所に変更

(3) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

調査日：平成27年3月5日

調査地点：市内12地点

No	調査地点(交差点)	測定値(ppm)		環境基準値
		平成26年度	前年度	
1	武蔵野橋北	0.022	0.032	0.06
2	武蔵野橋南	0.021	0.031	
3	熊川内出	0.019	0.030	
4	第五ゲート前	0.028	0.038	
5	福生志茂南	0.019	0.032	
6	多摩橋北	0.017	0.029	
7	福生駅西	0.021	0.039	
8	福生加美	0.019	0.031	
9	福生加美平	0.018	0.034	
10	福生市役所前	0.020	0.030	
11	武蔵野台北	0.020	0.033	
12	第二ゲート前	0.037	0.046	

※ 数値は、1時間値の1日平均値である。

(4) 光化学スモッグ注意報発令状況

地域 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	前年度合計
区 東部	0	0	1	1	0	0	2	5
区 北部	0	0	1	1	0	0	2	5
区 西部	0	0	1	1	1	0	3	8
区 南部	0	0	2	1	1	0	4	7
多摩北部	0	1	2	4	1	0	8	12
多摩中部	0	0	1	3	1	0	5	11
多摩西部	0	0	1	4	0	0	5	8
多摩南部	0	0	1	3	0	0	4	9
合計	0	1	10	18	4	0	33	65

※ 多摩西部の測定地点は、福生市本町及び青梅市東青梅である。

## 2 水質調査

### (1) 河川及び下水道（雨水管）

pH(水素イオン濃度) …酸性・アルカリ性の度合いの指標

BOD(生物化学的酸素要求量) …微生物に分解されやすい有機物量の目安

SS(浮遊物質) …1μm以下のフィルターに残存する成分の量

#### ア 多摩川（河川）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	環境基準
pH	平成26年度	8.5	8.2	8.8	7.8	8.0	8.6	6.5~8.5
	平成25年度	8.7	8.0	7.7	8.7	8.0	7.6	
	平成24年度	7.6	8.2	8.2	8.5	8.3	8.4	
BOD	平成26年度	0.6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2mg/l
	平成25年度	0.6	1.7	0.9	0.0	0.8	0.9	
	平成24年度	0.3	0.9	ND	0.3	0.6	0.4	
SS	平成26年度	2.5	1.5	2.5	0.0	0.0	0.5	25mg/l
	平成25年度	0.0	3.5	2.0	0.0	0.0	1.5	
	平成24年度	1.0	2.0	1.5	ND	0.5	1.0	

#### イ 下の川（河川）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	環境基準
pH	平成26年度	7.7	7.6	8.0	7.6	7.6	7.8	6.5~8.5
	平成25年度	7.8	7.8	7.1	7.5	7.7	7.5	
	平成24年度	7.3	7.7	7.8	8.1	7.7	7.7	
BOD	平成26年度	0.6	0.9	0.0	0.1	0.0	0.0	2mg/l
	平成25年度	0.4	1.6	1.3	0.0	0.7	0.7	
	平成24年度	0.8	0.7	ND	0.2	0.2	0.3	
SS	平成26年度	1.3	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	25mg/l
	平成25年度	0.7	2.0	11.3	0.0	0.7	6.3	
	平成24年度	0.3	0.7	3.3	ND	ND	0.7	

#### ウ 都市下水路（雨水管）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	排水基準
pH	平成26年度	8.4	7.9	8.3	7.7	8.1	7.9	5.8~8.6
	平成25年度	8.3	7.8	6.8	8.4	8.2	7.4	
	平成24年度	7.5	8.1	8.1	7.8	7.9	8.0	
BOD	平成26年度	0.9	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	160mg/l
	平成25年度	0.0	1.2	2.1	0.0	0.8	0.7	
	平成24年度	1.4	0.8	ND	1.9	0.7	1.2	
SS	平成26年度	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	200mg/l
	平成25年度	0.0	0.0	16.0	0.0	0.0	0.0	
	平成24年度	1.0	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	

#### エ 本町幹線（雨水管）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	排水基準
pH	平成26年度	8.9	8.2	9.8	7.7	7.9	8.5	5.8~8.6
	平成25年度	9.7	8.3	7.2	8.7	8.5	7.4	
	平成24年度	7.6	9.1	8.6	9.0	8.5	9.1	
BOD	平成26年度	0.8	1.2	2.3	0.6	0.6	1.4	160mg/l
	平成25年度	1.1	1.7	1.8	2.4	1.2	0.8	
	平成24年度	1.5	1.2	0.6	0.6	0.6	2.2	
SS	平成26年度	1.0	4.0	9.0	8.0	2.0	0.0	200mg/l
	平成25年度	4.0	4.0	12.0	2.0	6.0	1.0	
	平成24年度	4.0	2.0	3.0	2.0	1.0	11.0	

※ 都市下水路及び本町幹線は、排出口での採水

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

※ ND：定量下限値未満

## (2) 多摩川合同採水

採 水 年 度		平成26年度		平成25年度	
採 水 月 日		6.19 (木)	11.6(木)	6.6 (木)	11.14(木)
採 水 時 間		午前11時30分		午前11時30分	
流量	m <sup>3</sup> /sec	5.6	2.6	2.1	2.5
気温	℃	28.0	15.2	26.5	12.0
水温	℃	20.2	16.8	20.6	12.5
外観		無色	無色透明	無色	無色
臭気		無臭	無臭	無臭	無臭
透視度		>100.0	>100.0	>100.0	>100.0
pH (水素イオン濃度)		8.1	8.8	8.3	8.7
DO (溶存酸素)	mg/l	9.3	13.6	10	12
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/l	<0.5	0.6	0.6	<0.5
COD (化学的酸素要求量)	mg/l	1.1	0.9	1.3	0.8
SS (浮遊物質量)	mg/l	1	<1	2	<1
T-CN (シアン化合物)	mg/l	不検出	不検出	不検出	不検出
Pb (鉛)	mg/l	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
NH <sub>4</sub> -N (アンモニア性窒素)	mg/l	0.02	0.02	0.01	0.01
T-N (全窒素)	mg/l	1.1	0.83	0.92	1.3
PO <sub>4</sub> -P (リン酸性リン)	mg/l	<0.003	0.004	<0.003	0.003
T-P (全リン)	mg/l	0.012	0.007	0.016	0.007
MBAS (陰イオン界面活性剤)	mg/l	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ジクロロメタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
四塩化炭素	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 2-ジクロロエタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 1-ジクロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
シス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
トリクロロエチレン	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 3-ジクロロプロペン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
ベンゼン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/l	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/l	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/l	<0.002	<0.002	<0.0003	<0.0003
セレン	mg/l	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
大腸菌群数	MPN/100ml	2400	230	13000	2400
カドミウム	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
六価クロム	mg/l	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ヒ素	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
総水銀	mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/l	不検出	不検出	不検出	不検出
PCB	mg/l	不検出	不検出	不検出	不検出
1, 4-ジオキサン	mg/l	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/l	0.91	0.58	0.43	1.2
全亜鉛	mg/l	0.005	<0.003		
ノニルフェノール	mg/l	<0.00006	<0.00006		
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/l	<0.0006	0.0009		
環 境 基 準		水域類型A		水域類型A	

(3) 地下水

測定日：平成26年8月12日

測定地点		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	基準値
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	3.9	2.7	3.8	4.5	7.4	6.0	6.6	1.5	2.6	3.5	10以下
塩化物イオン	mg/ℓ	4.5	4.6	2.0	6.9	6.0	6.6	7.1	3.7	3.6	3.7	200以下
有機物 (TOCの量)	mg/ℓ	0.4	0.3	<0.3	0.3	1.0	0.5	<0.3	0.5	0.4	0.3	3以下
一般細菌	個/mℓ	91	0	230	26	150	18	0	0	0	99	100以下
大腸菌群数		不検出	不検出	不検出	検出	不検出	検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと。
鉄	mg/ℓ	<0.02	0.05	<0.02	0.02	0.09	<0.02	<0.02	0.09	0.04	0.03	0.3以下
マンガン	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05以下
pH (水素イオン濃度)		6.1	6.4	6.1	6.6	5.8	6.0	6.1	6.3	6.5	5.9	5.8～8.6
臭気		異常なし	異常でないこと。									
味		異常なし	異常でないこと。									
色度		<1	1	<1	<1	1	<1	<1	2	<1	<1	5度以下
濁度		<1	<1	<1	<1	1	<1	<1	<1	<1	<1	2度以下
トリクロロエチレン	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/ℓ	<0.001	0.002	0.013	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

※ 平成19年度より過マンガン酸カリウム消費量を有機物と表記する。

※ 地下水調査は、毎年度測定地点が異なる。

(4) 工場排水

測定日：平成26年9月30日

単位：mg/ℓ (pHと水温を除く。)

測定地点 検査項目	A工場		B工場		基準値
	平成26年度	平成25年度	平成26年度	平成25年度	
pH (水素イオン濃度)	8.2	9.3	6.8	6.8	5.8～8.6
pH測定時水温	19.8℃	21.5℃	28.5℃	26.3℃	40℃以下
BOD (生物学的酸素要求量)	0.5	2.5	1.1	<0.5	160
COD (化学的酸素要求量)	1.6	6.6	1.8	1.1	160
SS	<1	12	6	<1	200
カドミウム及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.03
鉛及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
水銀、アルキル水銀及びその化合物	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
銅含有量	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	3
亜鉛含有量	<0.05	<0.05	0.23	<0.05	2
溶解性鉄含有量	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	10

## (5) 雨水管 (横田基地流入分)

測定日 平成26年7月23日

平成27年3月6日

項目	単位	多摩橋通り		五日市街道		武蔵野幹線		排水基準
		7月	3月	7月	3月	7月	3月	
pH (水素イオン濃度)		7.3	7.8	7.5	7.9	7.6	8.0	5.8-8.6
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/l	3.0	1.6	1.1	1.2	0.7	<0.5	160mg/L
SS (浮遊物質)	mg/l	37	24	4	46	<1	1	200mg/L
ノルマルヘキサン抽出物	mg/l	1	<1	<1	<1	<1	<1	30mg/L
フェノール類	mg/l	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	5mg/L
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/l	16	1.9	1.1	0.4	2.6	2.2	※
六価クロム	mg/l	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.5mg/L
鉛及びその化合物	mg/l	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.1mg/L
カドミウム及びその化合物	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03mg/L
総水銀化合物	mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005mg/L
アンモニア性窒素	mg/l	0.05	0.02	0.05	0.03	<0.01	<0.01	100mg/L
リン酸性リン	mg/l	0.073	0.025	0.014	0.031	0.052	0.036	※
陰イオン界面活性剤	mg/l	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	※
有機リン化合物	mg/l	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1mg/L
有機体炭素	mg/l	2.1	0.6	1.2	0.7	<0.5	<0.5	※
セレン及びその化合物	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1mg/L
ヒ素及びその化合物	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.001	0.1mg/L
全リン	mg/l	0.17	0.075	0.031	0.080	0.060	0.048	16mg/L
シアン化合物	mg/l	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1mg/L

※排水基準の設定なし

### 3 騒音調査

#### (1) 自動車交通量・騒音・振動調査

##### ア 交通量

(単位：台)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	鈴島建設前
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車線数	4	4	2	2	2
測定日	平成27年 1月13日12時 ～14日12時	平成27年 1月13日12時 ～14日12時	平成27年 1月13日12時 ～14日12時	平成27年 1月13日12時 ～14日12時	平成27年 1月13日12時 ～14日12時
昼間 上り	20,826	9,744	6,870	3,336	8,454
昼間 下り	24,612	9,678	7,620	2,898	6,456
夜間 上り	5,046	918	966	300	1,326
夜間 下り	3,954	1,128	882	270	1,146
合計	54,438	21,468	16,338	6,804	17,382
前年度合計	49,884	20,694	16,416	8,472	19,416

※ 都心方面を上り、逆を下りとする。

##### イ 騒音

(単位：デシベル＝dB)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道		
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	鈴島建設前	
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業	
車線数	4	4	2	2	2	
測定日	平成27年 1月13日～20日 のうち3日間	平成27年 1月13日～20日 のうち3日間	平成27年 1月13日～20日 のうち3日間	平成27年 1月13日～20日 のうち3日間	平成27年 1月13日～20日 のうち3日間	
騒音 (LEQ)	昼間	75	68	69	66	69
	前年度	75	67	64	64	68
	夜間	74	66	66	60	66
	前年度	74	64	60	60	65
環境基準値	昼間	70				
	夜間	65				
要請限度	昼間	75				
	夜間	70				

※ LEQ＝等価騒音レベル

ウ 振 動

(単位：デシベル＝d B)

道 路 通 称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道		
測 定 場 所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	鈴島建設前	
用 途 地 域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業	
車 線 数	4	4	2	2	2	
測 定 日	平成27年 1月13日12時 ～14日12時	平成27年 1月13日12時 ～14日12時	平成27年 1月13日12時 ～14日12時	平成27年 1月13日12時 ～14日12時	平成27年 1月13日12時 ～14日12時	
振 動 ( L 1 0 )	昼 間	44	31	30	25	50
	夜 間	45	27	27	19	46
要 請 限 度	昼 間	70	65	70	65	70
	夜 間	65	60	65	60	65

(2) 自動車騒音面的評価

市内でセンサス区間（自動車の運行に伴う騒音の影響が概ね一定とみなせる区間）に指定されている幹線道路20箇所（1箇所は毎年）の自動車騒音調査を5箇年以内に全て行い評価する。（平成24年度から実施）

環境基準値	昼間	70	※幹線交通を担う道路に近接する空間に関する基準値
	夜間	65	

番号	道路名 (調査場所)	センサス 番号	基準レベル (dB)		残留騒音レベ ル(dB)		達成率(%)		達成戸数(戸)		全戸数 (戸)
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	
1	国道16号 (福生市熊川1148-3)	10090	74	73	43	36	79.7	67.3	515	435	646
2	国道16号 (福生市福生2034-3)	10100	73	72	44	39	78.2	65.5	197	165	252
3	杉並あきる野線 (福生市熊川307)	40450	67	64	39	35	99.7	98.7	311	308	312
4	立川青梅線 (福生市牛浜25)	41440	67	61	40	27	99.7	99.7	649	649	651
5	瑞穂あきる野八王子線 (福生市本町1)	61180	61	53	45	34	100	100	250	250	250
6	国道16号 (福生市熊川45)	10080	55	52	42	35	99.1	98.6	216	215	218
7	立川青梅線 (福生市志茂208)	41370	69	65	40	33	99.9	99.2	750	745	751
8	立川青梅線 (福生市熊川139)	41420	66	61	42	29	100	100	216	216	216
9	瑞穂あきる野八王子線 (福生市志茂229)	61190	65	61	41	31	100	99.7	383	382	383
10	杉並あきる野線 (福生市北田園1丁目 12)	40380-1	66.1	61.1	40	28	99.3	96	691	668	696
		40380-2	64	59	40	28	100	99.6	237	236	237
11	立川青梅線 (福生市熊川204)	41350	69	64	39	32	99.6	99.6	227	227	228
12	立川青梅線 (福生市福生549-1)	41470	65	61	41	28	98.6	98	145	144	147
13	福生青梅線 (福生市武蔵野台1丁目 16)	62650	64	60	40	31	100	100	787	787	787

※網掛けは、測定日時①にて測定

※番号1は優先的対策道路区間として毎年評価を行う。

※5箇年をかけて調査を行い、20箇所全ての調査終了段階において評価が確定するため、達成率、達成戸数、全戸数については途中経過の数値であり、毎年数値が変化する可能性あり。

測定日時① 平成26年7月2日(水)正午から7月3日(木)正午まで

測定日時② 平成25年6月4日(火)正午から6月5日(水)正午まで

測定日時③ 平成24年6月4日(月)正午から6月5日(火)正午まで

(3) 航空機騒音調査

ア 測定場所 大字熊川1571番地先 誘導灯付近

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	月平均 最高音圧レベル (d B)	月平均 時間帯補正等 価騒音レベル (d B)
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	993	725	227	41	117	69
5	1068	857	192	19	115	68
6	1020	779	228	13	117	68
7	880	713	147	20	115	68
8	926	777	136	13	121	70
9	1016	749	255	12	118	69
10	1342	1042	286	14	118	70
11	1161	933	200	28	119	67
12	821	622	179	20	114	66
27年1	1270	985	280	5	117	66
2	651	564	75	12	119	63
3	819	677	137	5	117	65
合計	11,967	9,423	2,342	202		
前年度合計	11,137	8,697	2,289	151		
平均	997	785	195	17	118	68

※ d B : デシベル

イ 測定場所 本町5番地 市役所屋上

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	月平均 最高音圧レベル (d B)	月平均 時間帯補正等 価騒音レベル (d B)
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	247	146	93	8	89	50
5	408	291	115	2	89	52
6	310	214	96	0	91	51
7	251	180	71	0	94	50
8	179	133	45	1	107	58
9	346	199	146	1	106	54
10	351	229	120	2	94	51
11	388	284	95	9	90	52
12	288	175	107	6	92	52
27年1	319	218	101	0	100	51
2	130	102	25	3	87	46
3	171	114	53	4	92	48
合計	3,388	2,285	1,067	36		
前年度合計	2,955	1,932	987	36		
平均	282	190	89	3	100	52

※ d B : デシベル

## (4) 環境騒音調査 市内29地点 (46箇所)

測定日：平成27年3月24日(火)から同月26日(木)まで【昼間】

測定地点			騒音の大きさ (dB)			支配音
No	用途地域	道路との関係	等価騒音レベル(LEQ)		環境基準	
			平成26年度	平成25年度		
1	準工業	一般地域	47	54	60	一般音
2	準工業	一般地域	46	50	60	〃
3	第1種住居	沿道	71	73	70	自動車音
	第1種低層	後背地	49	55	55	〃
4	近隣商業	沿道	65	68	70	〃
	近隣商業	後背地	56	54	60	〃
5	第1種低層	一般地域	44	44	55	自然音
6	第1種住居	沿道	66	70	70	自動車音
	第1種低層	後背地	48	54	55	〃
7	近隣商業	沿道	74	76	70	〃
	第1種低層	後背地	49	52	55	〃
8	第2種低層	沿道	69	64	60	〃
	第1種低層	後背地	59	57	55	〃
9	第1種中高層	沿道	66	62	65	〃
	第1種低層	後背地	46	51	55	〃
10	第1種低層	後背地	44	65	55	一般音
	第1種中高層	沿道	60	46	60	自動車音
11	第2種住居	沿道	65	63	70	〃
	第1種低層	後背地	46	48	55	一般音
12	第1種中高層	一般地域	56	45	55	自動車音
13	第1種中高層	一般地域	54	52	60	〃
14	近隣商業	一般地域	46	46	65	一般音
15	第1種低層	一般地域	50	48	55	自動車音
16	近隣商業	沿道	74	77	70	〃
	第1種低層	後背地	52	53	55	一般音
17	第1種低層	一般地域	43	53	55	〃
18	近隣商業	沿道	68	68	70	自動車音
	近隣商業	後背地	54	56	60	〃
19	第1種低層	一般地域	53	46	55	〃
20	第2種中高層	沿道	63	65	70	〃
	第1種中高層	後背地	50	54	55	一般音
21	商業	一般地域	61	63	65	自動車音
22A	商業	一般地域	61	61	65	〃
22B	商業	沿道	68	64	70	〃
	第2種低層	後背地	54	52	55	〃
23	第1種中高層	沿道	66	64	60	〃
	第1種低層	後背地	52	52	55	〃
24	準工業	一般地域	50	54	65	一般音
25	近隣商業	沿道	64	63	65	自動車音
	第1種中高層	後背地	44	46	55	一般音
26	第1種低層	一般地域	49	49	60	〃
27	工業	沿道	65	69	70	自動車音
	工業	後背地	47	50	65	一般音
28	第1種低層	一般地域	47	45	60	〃
29	第1種住居	沿道	65	64	70	自動車音
	第1種住居	後背地	47	48	55	〃

※ 後背地の環境基準は、一般地域のものが適用される。

#### 4 その他

(1) 苦情受付件数

(単位：件)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	27年1	2	3	合計	前年度
大 気 汚 染	0	0	1	1	1	1	1	1	3	0	0	1	10	4
アスベスト相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
水 質 汚 濁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土 壌 汚 染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
騒 音 ・ 振 動	3	0	4	0	1	1	3	0	0	2	4	0	18	10
低 周 波 音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
航空機騒音	19	19	29	25	18	38	21	9	9	7	0	9	203	213
地 盤 沈 下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	0	0	2	1	2	1	0	1	0	0	0	0	7	6
雑 草	1	1	1	4	5	3	3	1	2	0	0	0	21	21
そ の 他	2	3	3	8	1	7	4	2	1	0	0	3	34	32
合 計	25	23	40	39	28	51	32	14	15	9	5	13	294	287

(2) 申請書等処理件数

(単位：件)

区 分	平成 26年度	前年度	区 分	平成 26年度	前年度
工 場 設 置 認 可	0	0	指 定 作 業 場 設 置 届	1	0
工 場 設 置 認 定	0	0	指 定 作 業 場 変 更 届	0	0
工 場 変 更 認 可	1	1	指 定 作 業 場 氏 名 変 更 ・ 承 継 届	0	1
工 場 変 更 認 定	0	0	指 定 作 業 場 廃 止 届	0	0
工 場 氏 名 変 更 ・ 承 継 届	1	0	特 定 施 設 設 置 届	1	2
工 場 廃 止 届	3	0	特 定 施 設 変 更 届	0	0
電 気 供 給 通 知 書	0	0	特 定 施 設 氏 名 変 更 ・ 承 継 届	0	0
電 気 供 給 証 明 書	0	0	特 定 施 設 廃 止 届	0	0
地 下 水 揚 水 量 報 告	17	16	特 定 建 設 作 業 実 施 届	26	51
建築物の解体に係るアスベスト対策に関する届出	3	2			

(3) 立入り・測定件数等

(単位：件)

区 分	平成 26年度	前年度	区 分	平成 26年度	前年度
工 場 認 可 関 係	1	1	苦 情 処 理	177	175
指 定 作 業 場 届 出 関 係	0	0	各 種 測 定	171	166
ア ス ベ ス ト 撤 去 工 事 関 係	1	0			

## 5 環境行政・環境学習の推進

### (1) 福生環境市民会議等

#### ア 福生地域猫の会

第1回～第13回 平成26年度総会・定例会議・地域猫登録団体連絡会議

第1回～第9回 熊川げんき広場バザー出店・ふっさ桜まつりバザー出店

#### イ かんきょう通信編集会議

環境情報プロジェクト『かんきょう通信』の発行

第36号 3回開催

第37号 3回開催

#### ウ ふっさ花とみどりの会

第1回～第7回 定例会議

第2回 視察研修（花の都公園）

#### 活動記録

第1回 4/2 多摩川中央公園フラワーズゾーン除草

第2回 5/19 菜の花の回収

第3回 5/21 花いっぱい運動（春）やなぎ通り植栽

第4回 5/28 国道16号花いっぱい運動（春）

第5回 6/1 環境フェスティバル

第6回 6/25 視察研修（花の都公園）

第7回 9/25 多摩川中央公園フラワーズゾーン除草

第8回 10/23 多摩川中央公園フラワーズゾーンコスモス抜き

第9回 10/30 多摩川中央公園菜の花・チューリップ球根植え

第10回 11/10 花いっぱい運動（秋）やなぎ通り植栽

第11回 11/20 国道16号花いっぱい運動（秋）

第12回 11/26 多摩川中央公園フラワーズゾーン除草

第13回 2/4 多摩川中央公園フラワーズゾーン水撒き

第14回 2/25 多摩川中央公園フラワーズゾーン肥料まき

第15回 3/24 多摩川中央公園フラワーズゾーン除草

#### 花いっぱいコンテスト審査関係

第1回 7/8 審査 花いっぱいコンテスト1次審査会（春）

第2回 7/14 審査 花いっぱいコンテスト2次審査会（春）

第3回 12/22 審査 花いっぱいコンテスト1次審査会（秋）

第4回 1/8 審査 花いっぱいコンテスト2次審査会（秋）

#### 花いっぱいコンテスト表彰関係

第1回 8/28 花いっぱいコンテスト表彰式（春）

第2回 2/5 花いっぱいコンテスト表彰式（秋）

### (2) 福生市環境審議会

平成26年7月15日 ・福生市環境基本計画実行計画（平成26～28年度）について

平成26年11月27日 ・福生市環境基本計画実行計画進捗状況（平成25年度）について

・福生市環境基本計画等改定に向けての「市民提言（案）について」

### (3) ふっさ環境フェスティバル

環境問題に対する認識を深め、意識の醸成を図ることを目的に、市民参加型のイベントを開催した。

日時 平成 26 年 6 月 1 日（日）午前 10 時～午後 3 時  
 場所 多摩川中央公園 げんき広場  
 内容 東京農工大学エコレンジャーショー、ゆきちゃん博士の化学実験ショー、TUBAGURA  
 マウンテンバイク・トライアルショー、福生の中央で“エコ”をさげぶ（大声コンテスト）、  
 スタンプラリー、リユース食器使用によるフードブース出展、ダンボール迷路ほか  
 出展団体（参加団体） 43 団体（一般、企業・事業者）  
 来場者 4,500 人

(4) 市民環境大学 “ふっさ ECO カフェ” 全 6 回

環境問題の学習を通して、環境リーダーの育成を目指し、環境への負荷が少ない持続可能な暮らし方を考えるきっかけとして、畑での大豆を栽培し、収穫した大豆で豆腐作り等を行う講座を開催した。

第 1 回	6/28	大豆種まき	(23 人)
第 2 回	7/7	大豆定植	(9 人)
第 3 回	10/4	枝豆収穫	(23 人)
第 4 回	11/15	大豆収穫	(19 人)
第 5 回	12/13	大豆脱穀	(13 人)
第 6 回	1/17	豆腐作り	(24 人)
			合計 111 人

(5) 水辺の楽校 “多摩川で遊ぼう” 全 12 回

第 1 回	4/13	ヨモギ団子を作って食べよう	(26 人、19 人、14 人)
第 2 回	5/11	多摩川バードウォッチング	(21 人、8 人、11 人)
第 3 回	6/1	プールのヤゴ救出作戦	(50 人、29 人、7 人)
第 4 回	7/13	多摩川の魚を捕まえよう	(24 人、16 人、12 人)
第 5 回	7/21	多摩川の源流へ行こう	(11 人、6 人、6 人)
第 6 回	8/24	いかだで冒険、多摩川で泳ごう	(18 人、12 人、12 人)
第 7 回	9/14	バッタをゲット	(33 人、16 人、9 人)
第 8 回	10/12	多摩川の魚を捕まえよう	(5 人、7 人、7 人)
第 9 回	11/9	多摩川バードウォッチング	(2 人、2 人、9 人)
第 10 回	12/14	ネイチャークラフト&手作り凧あげ	(18 人、13 人、5 人)
第 11 回	1/11	川原のゴミ拾い&餅つき大会	(25 人、19 人、5 人)
第 12 回	3/8	バードウォッチング&焼きイモ大会	(雨天中止)
			合計 233 人、147 人、97 人

※（ ）内の参加人数は子ども、保護者、ボランティアの順で表示

(6) 水辺の楽校 “多摩川サポーターズ” 全 4 回

第 1 回	4/13	かくれんぼ広場水辺の秘密基地づくり	(45 人)
第 2 回	6/8	多摩川の水質&水生生物調査	(19 人)
第 3 回	8/24	いかだを作ろう	(23 人)
第 4 回	11/9	かくれんぼ広場水辺の秘密基地づくり	(20 人)
			合計 107 人

(7) 川の志民館利用者数

利用者数一覧

(単位：人)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
133	40	51	132	120	32	108
11 月	12 月	27 年 1 月	2 月	3 月	合計	前年度
75	83	93	34	45	946	677

※開館日数：117 日（土・日曜及び小・中学校夏休み期間）

※イベント（水辺の楽校）利用者も含む。

(8) 環境学習教員研修

第1回	8/4	フィールドで学ぶ 「水質調査、生物調査、川の安全学習」	(8人)
第2回	8/5	福生の水と緑を歩く	(17人)
			合計 25人

(9) 環境学習講座

市民を対象に、環境意識の醸成を図ることを目的とする全6回の環境学習講座を実施した。

第1回	9/9	開講式、環境学習について(学習目的、学習内容、学習方法など)、 持続可能な社会に向けて、地球の基礎知識	(8人)
第2回	9/30	いま地球で起きていること、地球温暖化	(9人)
第3回	10/7	エネルギー、生物多様性・自然共生社会	(9人)
第4回	10/21	地球環境問題、循環型社会、地域環境問題	(6人)
第5回	11/4	化学物質、震災関連・放射性物質	(7人)
第6回	11/18	持続可能な社会に向けたアプローチ、各主体の役割・活動(企業、市民、 NPO、自治体)、まとめ	(7人)
			合計 46人

(10) 環境保全フォーラム～ギョギョッとびっくり環境保全～

さかなクン(東京海洋大学客員准教授)を講師に、子どもを対象とした環境学習の普及・啓発のための環境保全フォーラムを行った。

日時 平成26年8月21日(木) 午後2時～3時45分

場所 福生第一小学校体育館

参加者 400人

(11) 地域猫去勢・不妊手術費助成事業

オス	メス	計
36匹	43匹	79匹

## 6 地球温暖化対策

### (1) サイクルシェアリング

実証実験を踏まえ、ガソリン使用自動車からの乗換えによる地球温暖化対策、市内の回遊性の向上等を目的に、平成26年度からサイクルシェアリング事業として実施した。サイクルシェアリングのステーションの名称を「たっけー☆☆サイクルポート」に改め、さらなる利便性の向上を図るため、牛浜駅東口自転車駐車場内から牛浜駅東口駅舎下へのステーションの移設及び福祉センター駐車場内にステーションの増設を行った。

#### ア 仕組み

- (ア) まちなかおもてなしステーション くるみる ふっさで会員登録
  - (イ) 利用したいステーションに行き、借りたい自転車を選び、登録カードで鍵とバッテリーを貸出返却ボックスから取り出し、自転車の利用開始
  - (ウ) 市内4箇所あるステーションへ自転車を返却、鍵とバッテリーを貸出返却ボックスへ返却
  - (エ) 支払は利用月ごとにクレジット決済
- イ 貸出返却拠点(たっけー☆☆サイクルポート(たっ☆クルポート))
- (ア) くるみる ふっさたっ☆クルポート(くるみる ふっさ)
  - (イ) 福生駅西口たっ☆クルポート(福生駅西口自転車駐車場内)

(ウ) 牛浜駅東口たっ☆クルポート (牛浜駅東口駅舎下)

(エ) 栢島駅北口たっ☆クルポート (栢島駅北口自転車駐車場内)

《実績》

会員数		平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度	
		435 名	338 名	268 名	
収入	シェアリング利用	207,550 円	134,350 円	147,500 円	
	一時利用	88,000 円	44,350 円	45,500 円	
	合計	295,550 円	178,700 円	193,000 円	
利用回数	くるみるふっさ	貸出	1,176 回	1,021 回	1,713 回
		返却	1,113 回	1,053 回	1,696 回
	福生駅西口	貸出	405 回	366 回	396 回
		返却	425 回	330 回	392 回
	牛浜駅東口	貸出	436 回	348 回	582 回
		返却	507 回	374 回	642 回
	栢島駅北口	貸出	318 回	609 回	757 回
		返却	290 回	587 回	718 回

(2) 電気自動車用急速充電器利用状況

電気自動車用急速充電器を 24 時間一般開放し、地球温暖化対策として電気自動車の普及を目的として運用を図った。

《利用料》 1 回 500 円 (最大 30 分)

《実績》

	充電回数	充電電力	利用料金
平成 26 年 4 月	17 回	130.89 kwh	8,500 円
5 月	19 回	173.99 kwh	9,500 円
6 月	19 回	169.12 kwh	9,500 円
7 月	27 回	263.23 kwh	13,500 円
8 月	28 回	265.42 kwh	14,000 円
9 月	17 回	151.61 kwh	8,500 円
10 月	17 回	156.15 kwh	8,500 円
11 月	18 回	137.08 kwh	9,000 円
12 月	17 回	142.61 kwh	8,500 円
平成 27 年 1 月	15 回	137.41 kwh	7,500 円
2 月	7 回	51.55 kwh	3,500 円
3 月	6 回	35.62 kwh	3,000 円
合 計	207 回	1,814.68 kwh	103,500 円
平成 25 年度	149 回	1,213.43 kwh	74,500 円

※平成 25 年度は 10 月から 3 月まで

(3) 福生スクラム・マイナス 50%協議会

第 1 回

平成 26 年 6 月 23 日

- ・平成 25 年度事業報告及び決算報告
- ・平成 26 年度事業と予算について

(4) 普及啓発等事業の実施について

ア ふっさライトダウンキャンペーン 2014 (全 2 回)

イ みどりのカーテン大作戦 (参加家庭 15 件)

## 7 環境マネジメントシステムの運用

平成 20 年度から福生市環境マネジメントシステムとして『環境自治体スタンダード (LAS-E)』を運用。平成 21 年 7 月に LAS-E 第 1 ステージ合格。平成 24 年 7 月 LAS-E 新規格による第 1 ステージ第 3 ステップ合格、平成 25 年 7 月に第 2 ステージ第 1 ステップに合格、平成 26 年 7 月には第 2 ステージ第 2 ステップに合格し、事務事業での環境配慮は定着し、環境関連施策・事業における求められるレベルに達しているとの評価を受けた。

平成 26 年度からは LAS-E の仕組みを土台として独自の環境マネジメントシステムを構築し、名称を福生市環境マネジメントシステム (Fussa environmental management system: 略称 F-e) として運用を開始した。これまでの LAS-E 規格に定められた取組項目の整理を行い、効率的、効果的な地球温暖化対策の推進を図った。

### (1) 外部監査

日 程	監 査 対 象	内 容
平成 27 年 1 月 27 日、28 日、29 日 (環境マネージャーの部署は 1 月 15 日に実施した模擬監査を本監査として対応)	59 実行部門のうち抽出 28 実行部門、推進組織及び事務局	業務における環境面で特に重視している事柄や環境行動推進徹底のための取組について確認

### (2) 予備監査

日 程	監 査 対 象	内 容
平成 27 年 1 月 15 日	監査対象となった部署のうち、希望部署 7 箇所 (基地渉外、松林会館、郷土資料室、市民会館、二小、六小、七小)	職員で組織された内部監査委員による F-e の 26 年度取組状況の確認、本監査に向けた助言

### (3) 推進組織会議等

区 分	開催回数	主 な 議 事 内 容
環境推進委員会	3 回	25 年度実績の検証と 26 年度方針、目標設定、26 年度取組状況の報告、監査等について
目標設定チーム会議	1 回	25 年度独自目標の監査と 26 年度目標の審議について
環境マネージャー会議	2 回	25 年度実績の検証と 26 年度目標に向けた具体的取組手法の検討、26 年度取組状況の報告、監査等について
監査チーム会議	3 回	監査の実施方法の確認、模擬監査、監査結果の振り返り

### (4) 研修活動の実施

研 修 名	日 程	対 象	内 容
新人研修会	平成 26 年 4 月 3 日	平成 26 年度新規採用職員	環境マネジメントシステム全般及び具体的な取組みについて説明
職員研修会	平成 26 年 7 月 31 日、8 月 1 日の 2 日 (全 8 回)	職員、嘱託職員、小・中学校教職員、指定管理施設職員	25 年度取り組みの振り返りと監査結果について確認。 26 年度からの環境マネジメントシステム F-e について説明。 26 年度目標、具体的な取組みについてハンドブックを用いて説明。
監査直前説明会	平成 27 年 1 月 21 日 (4 回)	全職員 (希望者)	監査の視点や方法、受け方を解説

## 8 外来生物現況把握調査

特定外来生物であるアライグマ及び外来生物であるハクビシンの市内での生息状況及び被害状況の把握並びにアライグマ、ハクビシンの捕獲防除による自然生態系の保全、農産物被害、感染症被害等を未然に防止することを目的として、市、事業者、市民等関係者の協働により、生息状況調査、捕獲、防除等を実施した。

	目撃情報（件）	捕獲防除実績（頭）
アライグマ	1	3
ハクビシン	22	12
不明	3	—

## 9 緑化推進事業

### (1) 草花の苗配布

苗の種類	配布数（株）
サルビア・ペチュニア	16,300
マリーゴールド	18,700
パンジー・ビオラ	30,300
葉ボタン	7,400
合計	72,700

### (2) プランター等植栽事業

植栽地点	内 容
やなぎ通りプランター	(春) ニチニチソウ 880 株
	(秋) ビオラ 1,100 株
国道 16 号線ハナミズキ植樹ます	(春) ニチニチソウ 848 株
	(秋) ビオラ 848 株

## 10 緑化保存事業

### (1) 保存樹林地

種 別	件数（件）	筆数（筆）	面積（㎡）
宅地介在山林	5	7	4,801.00
一般山林	4	7	1,348.00
合計	9	14	6,149.00

### (2) 保存樹木

件 数	本 数
39 件	177 本

### (3) 保存生垣

件 数	箇所数	延 長
152 件	158 箇所	3,143m

### (4) アメリカシロヒトリ防除事業

実施期間 平成 26 年 4 月から 9 月まで  
 箇所数 1 箇所  
 本数 9 本